

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立神津小学校協議会

1 総括についての評価

学習面において、学力経年調査の結果が、各学年ともに大阪市平均を上回る結果となり、子どもたち、学校の取り組みにより評価をいただいた。

学校行事、地域行事など、PTA・たくさんの地域の方々にご協力をいただき、子どもたちにとってよい体験学習をたくさん実施することができた。また家庭でも、生活調べなど、たくさんのご協力をいただいた。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87.3%以上にする。

R5 87.2% R5 学テ 72.6% R6 目標 87.3%→87.1%

○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を81.2%以上にする。

R5 79.2% R5 学テ 72.5% R6 目標 81.2% →81.1%

- ・今後も、継続して安心・安全な学校づくりに取り組んでいただきたい。
- ・子どもたちの自己肯定感が高まる取り組み、学校・家庭・地域と協力して行っていきたい。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度よりも0.01ポイント以上向上させる。

(R5の対全国比) 国語 3年 0.91 4年 1.03 5年 1.02 6年 1.09

+0.13

±0

+0.02

(R6の対全国比) 国語 3年 1.05 4年 1.04 5年 1.03 6年 1.04

○年度末の校内調査における、「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻におきていますか」に対して肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

(R6校内調査 児童学校アンケート) 73% 各学年60~80%台

大変思う39% 思う 34%

学力経年調査の結果において、大阪市平均・全国平均を上回っているのは、素晴らしい。家庭での、子どもたちへの声かけのしかたも、自己肯定感があがるように取り組んでいきたい。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

【ICTの活用に関する目標を設定する】

○授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。(ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く)

R7 1月時点→57.2%

○第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準1を満たす教職員の割合を50%以上にする。

※R5 神津→44.4% 大阪市全体実績→不明 大阪市全体 R6 目標→53%

R6→71%

○児童1人あたりの年間貸し出し冊数を前年度より上回る。

※R5 神津→51.97冊(4月～3月) R6 2/21 現在→53冊

心の天気など、ICTなどを活用しての、児童理解へのより良い取り組みは、継続して行っていたきたい。

働き改革は、進めれるところは継続して、取り組んでいただきたい。地域も、できるかぎり協力させていただく。

タブレット・ICTだけでなく、しっかりと教科書、ノート、読書など、学習も取り組んでいただきたい。

3 今後の学校園の運営についての意見

今後も、引き続き、学校・保護者・地域が協力して、子どもたちのためにできることを、様々な協議しながら取り組みを進めていくこと。